

第44回広瀬川創生プラン策定推進協議会

日 時: 令和5年3月17日(金) 10時00分から12時00分まで
場 所: 仙台市役所本庁舎2階 第2委員会室

次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 会長選出

4. 議 事

- (1) 令和4年度重点事業の評価及び取組事業の報告について [資料1](#) [資料2](#)
- (2) 令和5年度重点事業の設定及び取組事業の更新について [資料3](#) [資料4](#)
- (3) 広瀬川ゴールドサポーターの認定について [資料5](#)
- (4) 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について [資料6](#)

5. その他

第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023の開催について [資料7](#)

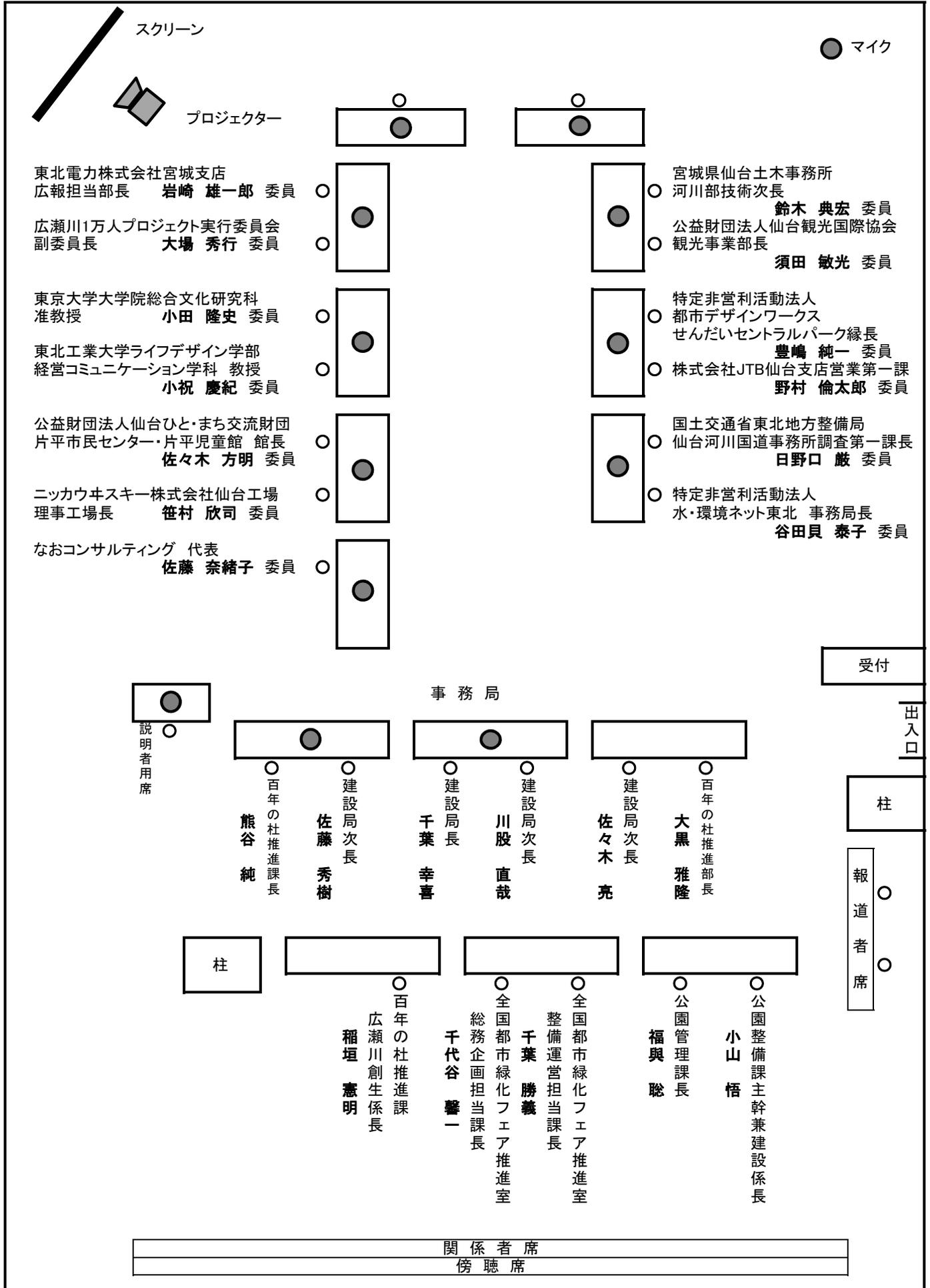
6. 閉 会

○配布資料

- [資料1](#) 令和4年度重点事業の評価及び取組事業の報告について
- [資料2](#) 令和4年度取組事業一覧
- [資料3](#) 令和5年度重点事業の設定及び取組事業の更新について
- [資料4](#) 令和5年度取組事業一覧
- [資料5](#) 広瀬川ゴールドサポーターの認定について
- [資料6](#) 広瀬川グリーンサポーターの認定の報告について
- [資料7](#) 第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023の開催について
- [参考資料1](#) 広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱
広瀬川創生プラン2015-2024【中間見直し版】(冊子)
- [参考資料2](#) 広瀬川魅力創生サポーター認定制度(お知らせのチラシ)
- [参考資料3](#) 広瀬川1万人プロジェクト実行委員会設立20周年記念総会及び講演会リーフレット
- [参考資料4](#) R4重点事業・主な取組事業マップ

第44回広瀬川創生プラン策定推進協議会 席次表

日時: 令和5年3月17日(金) 10時00分から12時00分まで
 場所: 仙台市役所本庁舎2階 第2委員会室



広瀬川創生プラン策定推進協議会委員名簿

第9期（令和4年4月1日～令和6年3月31日）

役職	氏名	役職又は団体名	備考
	岩崎 雄一郎	東北電力株式会社宮城支店 広報担当部長	
	大庭 克己	仙台商工会議所 中小企業支援部次長 地域づくり推進グループ担当	欠席
	大場 秀行	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 副委員長	
	小田 隆史	東京大学大学院総合文化研究科 准教授	
	小祝 慶紀	東北工業大学ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科教授	
	佐々木 方明	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 仙台市片平市民センター片平児童館 館長	
	笹村 欣司	ニッカウキスキー株式会社仙台工場 理事工場長	
	佐藤 奈緒子	なおコンサルティング 代表	
	鈴木 典宏	宮城県仙台土木事務所河川部技術次長	
	須田 敏光	公益財団法人仙台観光国際協会 観光事業部長	
	多田 千佳	東北大学大学院農学研究科 准教授	欠席
	豊嶋 純一	特定非営利活動法人都市デザインワークス せんだいセントラルパーク縁長	
	野村 倫太郎	株式会社JTB仙台支店 営業第一課	
	日野口 巖	国土交通省東北地方整備局 仙台河川国道事務所調査第一課長	
	谷田貝 泰子	特定非営利活動法人水・環境ネット東北 事務局長	

（敬称略・五十音順）

令和4年度重点事業の評価及び 取組事業の報告について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第44回 広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

令和4年度取組事業について

■令和4年度取組事業 概要 (詳細は資料2を参照のこと)	件数
令和4年度取組事業 総数	79件
内、令和4年度中に新規で追加された取組事業	6件
内、令和4年度重点事業に認定されている取組事業	4件

広瀬川創生プランに基づく取組事業のうち重点的に取組む事業を重点事業として協議会で認定しており、毎年度見直しを行っている。

また、重点事業など一部の取組事業は本市からの負担金の対象とする。

重点事業認定の基本的な考え方

●多様な主体が参画できること

市民・NPO・行政・企業などの多様な主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの

●多くの市民が関わるができること

多くの市民が気軽にかつ自発的に参加することができるようなもの

●あらゆる方面への波及効果が高いこと

世代・地域・立場などを超えて、取組みの成果が幅広く波及するもの

●ソフト中心の取り組みであること

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの

令和4年度の重点事業について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」 【継続】

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃活動
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
成果目標	参加者数 約1,800人程度（春：700人、秋：1,100人程度と見込む）
スケジュール	春の流域一斉清掃：4月23日（土）、秋の流域一斉清掃：10月1日（土）

重点事業1 広瀬川1万人プロジェクト	春の流域一斉清掃		秋の流域一斉清掃		
	参加者数	ゴミの数	参加者数	ゴミの数	
会場名 ※ () は会場担当					
①作並 (作並地区未来プロジェクト/ニッカウヰスキー(株)仙台工場/仙台環境開発(株))	100	36	60	13	
②野川橋 ((株)宮城衛生環境公社)			13	3	
③折立 (仙台市カヌー協会/三洋テクニクス(株))			32	8	
④牛越橋 ((株)建設技術研究所)			64	10	
⑤殿橋 ((株)深松組/広瀬川を楽しむ会)	209	11	196	9	
⑥仲ノ瀬橋 ((特活)都市デザインワークス)	39	5	42	7	
⑦大橋左岸 (春:(特活)水・環境ネット東北、秋:(株)NJS)	118	10	74	2	
⑧大橋右岸 (中野建設コンサルタント(株))			83	4	
⑨評定河原橋 ((株)バイタルネット)			61	5	
⑩米ヶ袋 (パシフィックコンサルタンツ(株))			47	9	
⑪宮沢橋 ((株)サトー技建/実行委員会事務局)			128	4	
⑫広瀬橋 (仙台南高等学校)			152	6	
⑬八本松 (八本松緑地愛護協会/(特活)水・環境ネット東北)			45	2	
⑭千代大橋 ((一社)仙台建設業協会)	148	34	136	37	
⑮太白大橋 (仙台市百年の杜推進課)			31	12	
⑯名取川鉄道橋 (名取川水質汚濁対策連絡協議会)			7	15	
⑰関上大橋 (情報労連宮城県協議会/(特活)名取ハマボウフウの会)	168	96			
⑱関上海岸 (情報労連宮城県協議会/(特活)名取ハマボウフウの会/西松建設(株))			153	82	
⑲かわまちてらす関上 (名取川水質汚濁対策連絡協議会)			19	8	
⑳荒浜海岸 (春:みやぎ環境とくらしネットワーク、秋:ビーチテニスクラブ東北/荒浜復興推進協議会)	81	20	56	25	
㉑貞山運河新堀 (貞山運河倶楽部)	31	15			
合計	※【 】は昨年秋からの増減	894人	227袋	1,399人【+326】	261袋【+53】

5

【重点事業1】 広瀬川1万人プロジェクト



■ 成果目標

参加者数 約1,800人程度 (春: 700人、秋: 1,100人)

■ 評価

参加者数は、2,293人 (春: 894人) と (秋: 1,399人) となり、目標を達成することができた。また、当年度は春の一斉清掃が3年ぶりに実施されると共に、広瀬川1万人プロジェクト実行委員会が設立20周年を迎え、記念総会が開催された。(参考資料3参照)

「清掃活動の様子」



■ 来年度に向けて

本市では、今年の4月26日から国内最大級の花と緑の祭典である「全国都市緑化仙台フェア」を青葉山公園や西公園、また、広瀬川をメイン会場として開催します。そして、仙台フェア開催前の4月22日にはメイン会場付近を含め春の流域一斉清掃が実施される予定であり、この全国的な一大イベントである緑化フェアの開催を、広瀬川の魅力や広瀬川1万人プロジェクトの活動を国内外に広く発信する貴重な機会と捉え、本市としても情報発信に努めます。

6

令和4年度の重点事業について

■重点事業2 「アイラブ広瀬川プロジェクト」

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取組み 例) 広瀬川に関わるワークショップ、自然・歴史・文化に関する講座など
実施主体	仙台市、その他活動団体
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらう (本市が実施主体となる取組みでは、参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする)

7

令和4年度の重点事業について

令和4年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

- ・ 広瀬川自然体験学習（8月21日（日）） 【継続】
- ・ Art Standing in SENDAI
〔 壁画アート制作：10月24日（月）～11月6日（日）、
お披露目会 : 11月13日（日） 〕 【新規】
- ・ 広瀬川スマホ写真教室（2月25日（土）） 【新規】

※仙台市が主体的に関わり、年度途中で実施が決定した事業を2件、新規事業として記載

8

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■名称：広瀬川自然体験学習 【継続】 ■開催日：令和4年8月21日（日）

■主催：仙台市百年の杜推進課 ■協力：広瀬川市民会議

■場所：仙台市青葉区ニッカ地内（新川）

※ニッカウヰスキー株式会社仙台工場の敷地に隣接する新川で、
作並かつぱ祭りの代替として、令和2年度から開催している。

■対象：小学生 ■参加者：31人（含む、小学1・2年生の同伴の保護者）

■内容：広瀬川の支流である新川にて、インストラクターの指導のもと、
小学生を対象に川の生き物探しや安全講習等を中心としたイベントを開催した。



9

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

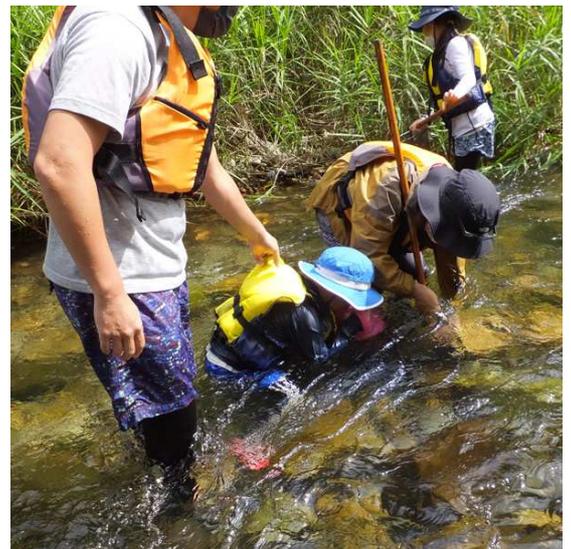
■成果目標

参加者の80%以上に満足していただく

■評価

参加者31人にアンケートを実施し、結果、97%の参加者から『すごく満足』『やや満足』との高評価が得られ、参加した方の80%以上に満足いただくという目標を達成することができた。

《川の生き物探しの様子》



■来年度に向けて

参加者からは『水の冷たさや石の滑る感じなど、体験しないと分からないことを学べた』『歩いて生き物を捕まえたのが楽しかった』などの感想をいただき、本イベントを通して、普段あまり体験することができない広瀬川の魅力を再認識していただけたと考え、今後も引き続き、同様のイベントを実施していきたいと考えております。

10

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■名称：Art Standing in SENDAI 【新規】

■場所：広瀬川宮沢橋下流左岸

■主催：仙台商工会議所青年部

■共催：河原町商店街振興組合、仙台市

■壁画アート制作期間

：令和4年10月24日（月）～11月6日（日）

■お披露目会：令和4年11月13日（日）10時～16時

■内容：近隣の小・中学生と広瀬川の擁壁に壁画アートを実施し、完成お披露目会では当日参加が可能なワークショップを準備して市民が広瀬川の河川敷とアートに触れる機会を創出する。

※まちくるファンド仙台のクラウドファンディングを活用し9月15日～10月30日の間で50人の支援者から1,581,900円の支援を受けた。



11

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■成果目標

参加者に広瀬川の魅力を再認識してもらう

■評価

児童・生徒の皆さんが壁画アートの制作という普段体験することができない経験ができ、また、多くの市民がお披露目会当日のワークショップで河川敷でのアート体験に参加することで、あらためて広瀬川の魅力を再認識できる貴重な機会となった。

≪完成した壁画アートの全景（幅30m・高さ1.2m）≫



近隣の小・中学生をはじめ222人の方と一緒に壁画アートを制作し、完成お披露目会では東北生活文化大学高校の生徒など多くの関係者のご協力を得てアート体験・出店ブースを設け、713人の市民の皆様にご参加をいただきました。また、参加いただいた学生からは「いつも大きさが決まっているものに描くけれど、こんなに大きなものに好きに描くのは楽しい」などの感想がありました。 ※令和5年10月中に近隣の小・中学生と、壁画を描く前の状態へ現状復旧を予定している。 12

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

- 名称：広瀬川スマホ写真教室 【新規】 ■開催日：令和5年2月25日（土）
- 主催：仙台市百年の杜推進課 ■参加者：13人
- 場所：【午前】広瀬川河川敷の広瀬橋～愛宕大橋上流を散策しながら写真撮影
【午後】仙台市荒町市民センター（第3会議室）で座学講座
- 内容：広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、フォトグラファーの指導のもと、スマホによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学んだ。



13

【重点事業2】 アイラブ広瀬川プロジェクト

■成果目標

参加者の80%以上に満足していただく

■評価

参加者13人にアンケートを実施し、結果、100%の参加者から『すごく満足』との高評価が得られ、参加した方の80%以上に満足いただくという目標を達成することができた。

■来年度に向けて

参加者からは『仙台生まれ仙台育ちで広瀬川はいつも身近にありました。しかし、初めて歩いた場所があり、新しい発見がありました。』『今まで18年近く住んでいましたが、知らないことや知らない発見ができ、また機会があれば参加したいです。』などの感想をいただき、本イベントを通して、広瀬川の魅力を再認識していただけたと考え、今後も引き続き、同様のイベント実施を検討していきたいと考えています。

いしずえ
「参加者の作品例 題：『新しい橋の礎』」



14

令和4年度に実施した主な取組事業

- ・ 東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業
(東北工業大学の学生との広瀬川歩き)
- ・ 「地誌学」 学外実習連携事業
(東北学院大学の学生との広瀬川歩き)
- ・ 水辺と、船上で乾杯
- ・ 広瀬川界限ぶらり散歩
- ・ 仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する
情報収集と更新

15

令和4年度取組事業の報告について

- 名称 : 東北工業大学ライフデザイン学部生連携事業
(東北工業大学の学生との広瀬川歩き)
- 開催日 : 令和4年11月23日(水) ■ 実施主体 : 東北工業大学、百年の杜推進課
- 場所 : 片平市民センター～花壇～大橋～地下鉄国際センター駅
- 参加者 : 東北工業大学 小祝 慶紀教授、他学生3名、青空編集室 西大立目 祥子氏
都市デザインワークス 豊嶋 純一氏、百年の杜推進課職員



16

令和4年度取組事業の報告について

- 名称：「地誌学」 学外実習連携事業（東北学院大学の学生との広瀬川歩き）
- 開催日：令和4年7月7日（木） ■実施主体：小田 隆史先生、百年の杜推進課
- 場所：東北学院大学土樋キャンパス～片平市民センター～評定河原～大橋
- 参加者：小田 隆史先生、「地誌学」を受講する学生
青空編集室 西大立目 祥子氏、百年の杜推進課職員



令和4年度取組事業の報告について

- 名称：水辺と、船上で乾杯 ■開催日：令和4年7月7日（木）
- 主催：特定非営利活動法人都市デザインワークス ■運営パートナー：カワラバン
- 共催：広瀬川市民会議 ■後援：仙台市
- 場所：大橋上流左岸の広瀬川河川敷 ■参加者数：約100人



令和4年度取組事業の報告について

- 名称：広瀬川界限ぶらり散歩
- 実施主体：片平市民センター、百年の杜推進課
- 内容：片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝えていきます。

■当年度の実施内容：

- ・5月21日（土）、6月18日（土） 花壇大手町コース
（ルート：国際センター駅→キリシタン慰霊碑→大橋→銭形不動尊→経ヶ峰→評定河原→片平市民センター）
- ・10月15日（土）、11月5日（土） 米ヶ袋コース
（ルート：片平市民センター→東北大学片平キャンパス→鹿の子清水跡→本田記念館→縛り地蔵尊→広瀬川遊歩道→霊屋橋→片平市民センター）



令和4年度取組事業の報告について

- 名称：仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新
- 実施主体：百年の杜推進課、広瀬川インスタクラブ
- 内容：広瀬川流域の情報発信を目的として運営している「広瀬川Instagram」について、令和4年度はこれまでに計47回の投稿を行い、広瀬川の魅力を積極的に発信している。また、当年度は 広瀬川インスタクラブ様の協力も得て広瀬川の各活動団体が実施する取り組みの紹介記事を多く掲載することができ、昨年度は100台であったフォロワー数も当年度は260を超えており、今後も引き続き、Instagramを活用した情報提供を実施していく。

6月26日 広瀬川下流探鳥会

8月21日 カヌー体験会

11月12日 広瀬川清掃活動



広瀬川創生プラン 令和4年度取組事業一覧

資料2

- : 令和4年度中に新規で追加された取組事業
- : 令和4年度重点事業



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R4 実施状況
1	広瀬川創生プラン策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。	継続
2		広瀬川ゴールドサポーター認定に対する意見の発信	広瀬川ゴールドサポーターの認定・不認定の決定にあたり、仙台市の審査結果に対して意見を発信する。	継続
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぶ	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。	継続 (当年度は実施無し)
4		作並かつば祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。	継続 (当年度は実施無し)
5		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。	継続
6		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるように組織を拡充する。	継続
7		広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。	継続
8	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。なお、秋の流域一斉清掃は「広瀬川の清流を守る条例」公布日になちなみ、9月の最終土曜日に実施している。	継続
9	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。	継続
10		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。	継続
11	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、その他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。	継続
12	(特非)都市デザインワークス	水辺で乾杯	水辺での全国的な取組み「ミズベリング」のイベントであり、7月7日午後7時7分に世界の水辺で乾杯するもの。広瀬橋や大橋周辺などで開催を予定している。	継続
13		せんだいセントラルパーク構想	社の都仙山のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や「5つの楽しみ方 行むピクニック 巡るまち歩き 集うマーケット 知るミュージアム 食のカフェレストラン」を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。	継続
14		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。	継続 (当年度は実施無し)
15		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんたいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(ハークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。	継続
16		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。	継続 (当年度は実施無し)
17		広瀬川市民会議との協働	1980年広瀬川の清流を守る会(発足)、1974年仙台市が制定した「広瀬川の清流を守る条例」の市民協働の川づくりの環境保全の取り組みに共感し、「広瀬川の清流を守る会」と命名しました。2001年4月法人化、伊達政公による1601年仙台開府の際「仙人橋下・河水千年・民安国泰・執与堯天」(大橋擬宝珠刻書)広瀬川の流れるように永久に国も民も平穏で繁栄することを水面から願いました。本会はこの願いを礎とし広瀬川の街づくりが始まった歴史を学び、次代に繋げる活動を継続します。本会は、発足当時から清流保全の改善を求め、小学校や地域による支流川でホタルが息する身近な環境づくりの支援活動を行いました。当時関わった子らが大人となり一部で引き繋がれていることを鑑み、今後も五感で感じる川体験や観察を通じ、後世に伝える人材育成の市民活動を推進します。	継続
18	河川清掃	(以下主な活動) 1. 広瀬川と支流川の自然、歴史、文化を学び、広瀬川の利活用、魅力発見に関する協働 2. 1、2月を除く清掃活動(毎月第2土曜日/広瀬橋上下600m両岸)年間300~500名 3. 広瀬橋上下の清掃とコミュニティーの形成、観察(アユ、サクラマス、サケ遊上、オオハクチョウ等) 4. 五感で感じる川イベント(広瀬川八本松の親水池/夏のアユ、秋のサケ掴み、食べる) 5. 活動として (1)7月7日 笹流し・全国一斉水辺で乾杯(八本松親水池) (2)8月第3日曜 アユ祭り(八本松親水池)名取広瀬川漁協共催 (3)11月3日 サケ祭り(八本松親水池)名取広瀬川漁協共催 (4)国交省東北地方整備局「水辺・絆プロジェクト2023」活動 (5)「全国一斉水質検査」を広瀬川で実施・報告書作成 6. 市民会議並びに他団体との協働 その1 広瀬川八本松(親水護岸)と協働活動(本会/障がい者団体/国交省管理、県、市) その2 広瀬川灯ろう流し支援活動(長町・河原町商店街・町内会主催)参加3万人 7. 広瀬川フォーラム開催(随時テーマ/治水・利水・環境のバランスある川づくり) 8. 広瀬川を「五感で感じる」魅力発見/供する市民協働の推進 9. 広瀬川の適正な管理を目的とする管理権限移譲(宮城県から仙台市へ)に関する提言活動 10. 広瀬川大橋下流(左岸河川敷)を緑地公園とする協働プラン策定 11. 他団体との「広瀬川フォーラム」開催	継続	
19	(特非)広瀬川の清流を守る会	漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント		継続
20		広瀬川何でも相談室		継続
21	川づくり提言・市民協働フォーラム開催			継続
22	国交省「水辺・絆プロジェクト2022」探採の活動		当年度は国交省「水辺・絆プロジェクト2022」探採活動として、以下の2つの活動も実施しました。 ・笹流し・全国一斉水辺で乾杯(7/7、八本松親水池) ・第33回広瀬川灯籠流し企画支援(8/20、宮沢橋緑地)	新規
23	(特非)広瀬川ボートくらぶ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	宮沢緑地で貸ボートを行うもので、「広瀬川で遊ぶ」などのイベントとも連携し市民の広瀬川への関心を高める。	継続 (休止中)
24	広瀬川灯ろう流し実行委員会	広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	夏の風物詩としての祖先や故人を供養する灯ろう流しや、花火大会・コンサートなどを実施する。	継続
25	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米「蔵の華」で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R4 実施状況
26	仙台市カヌー協会	カヌーで河川清掃「グリーンアップ広瀬川」	カヌーで河川清掃「グリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。	継続
27		カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	リバーピール必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。	継続
28		広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5月～11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。	継続
29		市民総体カヌーファンシラローム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。	継続
30		カヌー体験会	シーズン4～5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまともはブチツーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。	継続
31	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト2022	令和3年度開催した「関山街道の四季フォトコンテスト」を継続し、宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写した、お気に入りの写真を募集いたします。新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。	継続
32		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開整殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開整殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「日暮らし滝」の探訪を行います。R3.5月に完成した「作並二ツ岩散策路」も訪ねます。	継続
33	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	今年で関山街道フォーラム協議会に参加して2年目になります。今まで探訪した実績のパンフレット小冊子をつくることに取り組み、1月中に完成予定です。大きな目標として白沢カルデラの痕跡探し・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指し、大きな目標を掲げ取り組みます。具体的には以下の活動を実施予定です。 ①継続事業の予算獲得 ②白沢カルデラPR用パンフレットの作成(「古仙台湖」のカンパ作成・展示は3年目に変更) ③広瀬川の本流、支流の露頭調査継続 ④パネル写真展覧会 (1)2/1～2/13 西市民センター開催 (2)3/1～3/12 広瀬市民センター開催 (3)4/4～4/16 観光交流館「ラサント」開催 (4)5/9～5/31 ニッカウキスキー開催 (5)6/10～7/1 落合市民センター開催 (6)7/12～7/23大沢市民センター開催 (7)10/21～10/23広瀬市民センター写真展覧会(協力参加) ⑤小・中学校へのPR:上愛子小学校へのPR実施…野外授業の検討(来年度予定) ⑥旧宮城地域町内会連合会へのPR等:パンフレット完成したら地域町内会連合会へのPR活動予定	継続
34	西公園プレーパークの会	ヒロセガワプレーパーク	広瀬川の河畔に広がる自然を活かし、参加者が主体性を大切に遊ぶことのできる遊び場を実施する。自然の中で遊ぶことで、広瀬川を身近と感じ、広瀬川への愛着を感じてもらえる場とする。河川敷は乳幼児親子や小学生が個人的に遊ぶにはハードルが高い場所であるため、安全管理も配慮しつつ、遊びを支えるためのスタッフを配置する。	継続 (当年度は実施無し)
35	カワラカイ	ミズベフェスタ	ミズベフェスタの開催 広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催 川のパログラム、水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム(火おこし・テント張り・ロープワークなど)を実施予定 水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。 2022年度は、2021年度に行ったプログラム プラスα (マルシェ・キャンプ・BBQなどにチャレンジ:主催者側に学生や主婦を増やし、地域の人を巻き込み、リーダー育成を行う)	当年度は実施無し (R5は未定)
36	仙台商工会議所青年部	Art Standing in SENDAI	2022年10月24日から11月6日まで制作期間として、近隣の小中学生と一緒に広瀬川の擁壁に壁画アートを実施致します。11月13日には完成お披露目会と併せて当日参加が可能なワークショップを準備し、仙台市民が広瀬川の河川敷とARTに触れる機会を創出いたします。	新規
37	つながりんぐ 太白区中央市民センター	ぼくらの広瀬川～広瀬川を遊びつくせ! 広瀬川の魅力再発見～	「つながりんぐ」は、太白区でボランティア活動に取り組む若者のサークルです。今年は環境に関する活動に積極的に取り組んでいる、東北工業大学「環境サークルたんほぼ」のメンバーを中心に広瀬川をテーマに活動しています。仙台市民に愛されている広瀬川ですが、若い世代は意外と広瀬川の良さを知らないのではないのでしょうか? 広瀬川で楽しいひとときを過ごすことで広瀬川の魅力を再発見するとともに、広瀬川の環境を守ろうとする意識を育てていきたいと思い、このイベントを企画しました。	新規 (単年度の実施)
38		河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。	継続
39	仙台河川国道事務所	広瀬川及び旧荒川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。(仙台地域水循環協議会にて実施、仙台河川国道事務所は事務局)	継続
40		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。	継続
41		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見えた適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。	継続
42		みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。	継続
43	仙台土木事務所	中州・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。	継続
44		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。	継続 (当年度は実施無し)
45	仙台河川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所で開催する。	継続 (当年度は実施無し)
46	仙台土木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体の調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R4 実施状況
47	国立研究開発法人 土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口渓谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口渓谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切れき魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができている。	継続
48	健康福祉局健康政策課	歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アールワーク仙台～	楽しくウォーキングに取り組み、ウォーキングを通して活動量を増やすイベント。スタンプラリーによるウォーキングイベント。市内の通りのGPSスポットでスタンプを獲得し、抽選で500名の方にデジタルギフト券をプレゼントされる。	新規
49	環境局環境共生課	生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図ります。	継続
50		四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷埋から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩き会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。	継続
51		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(5年毎に2年にわたって調査を実施、直近は令和2年度及び令和3年度に実施した。)	継続 (当年度は実施無し)
52	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。	継続
53	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。	継続
54		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。	継続
55	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。 ※現在、広瀬川で近接する橋梁の架け替え工事を実施中であり、架け替え工事完了後は、旧橋の撤去工事(R12年度完了予定)が予定されており、工事が軽轉するため、愛宕堰の改修工事はその後となる予定。現在、橋梁工事の進捗をみながら、県と協議を行っている状況。	継続
56	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き広瀬川の水質保全、公衆衛生の向上を図るため、汚水処理施設の整備事業を継続する。	継続
57		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。	継続
58	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。	継続
59	建設局公園整備課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。	継続
60		西公園再整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。	継続
61	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種の亚克力封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。	継続
62		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力を行う。	継続 (当年度は実施無し)
63		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクトマップを活用した展示を実施している。	継続
64	建設局百年の杜推進課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。	継続
65		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。	継続
66		六・七郷堀非かんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。	継続
67		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。	継続
68		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行こう」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。	継続
69		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生係による創生プランの推進。)	継続
70		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。	継続
71		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。	継続
72		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。	継続
73		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探検や、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。	継続
74	広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学び、広瀬川の自然・歴史・文化等に触れつつ、広瀬川の魅力を再発見する。	新規	
75	#広瀬川 インスタクラブ 建設局百年の杜推進課	仙台市公式 #広瀬川 Instagram に掲載する情報収集と更新	① 広瀬川に関する行政の取り組み(治水・利水・親水)をInstagramをとおして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。 ② 広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をInstagramを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。(川歩き等の市民イベント同行による情報発信)。 ③ 定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。	継続

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介	R4 実施状況
76	東北工業大学 建設局百年の杜推 進課	東北工業大学ライフデザイン学部生 連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。	継続
77	小田 隆史先生 建設局百年の杜推 進課	「地誌学」学外実習連携事業	小田 隆史先生が東北学院大学で担当する授業「地誌学」の学外実習に協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。	新規
78	片平市民センター 建設局百年の杜推 進課	広瀬川界限ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝えていきます。	継続
79		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。	継続

令和5年度重点事業の設定及び 取組事業の更新について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第44回広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

令和5年度取組事業について

■令和5年度取組事業 概要 (詳細は資料4を参照のこと)	件数
令和5年度取組事業 総数	78件
内、令和5年度新規事業	1件
内、令和5年度重点事業	3件

2

広瀬川創生プランに基づく取組事業のうち重点的に取組む事業を重点事業として協議会で認定しており、毎年度見直しを行っている。

また、重点事業など一部の取組事業は本市からの負担金の対象とする。

重点事業認定の基本的な考え方

●多様な主体が参画できること

市民・NPO・行政・企業などの多様な主体が、お互いを尊重しつつ力を合わせて協働できるもの

●多くの市民が関わるができること

多くの市民が気軽にかつ自発的に参加することができるようなもの

●あらゆる方面への波及効果が高いこと

世代・地域・立場などを超えて、取組みの成果が幅広く波及するもの

●ソフト中心の取り組みであること

川づくりの中でも、広瀬川の自然環境等を活かしたソフト中心のもの

令和5年度重点事業の設定について

■重点事業1 「広瀬川1万人プロジェクト」 【継続】

事業概要	広瀬川流域における一斉清掃活動
実施主体	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会
成果目標	参加者数 約2,300人程度（春：900人、秋：1,400人程度と見込む） ※令和4年度と同程度の規模での実施を予定している
スケジュール	春の流域一斉清掃：4月22日（土）、秋の流域一斉清掃：9月23日（土）

■重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト

事業概要	広瀬川の魅力を再認識できる取組み 例) 広瀬川に関わるワークショップ、自然・歴史・文化に関する講座など
実施主体	仙台市、その他活動団体
成果目標	広瀬川の魅力を再認識してもらう (本市が実施主体となる取組みでは、参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする)

令和5年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

- ・ 広瀬川自然体験学習（8月頃の予定） 【継続】
- ・ 広瀬川ミズベリング（7月7日（金）） 【新規】

5

令和5年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

■広瀬川自然体験学習 【継続】

事業概要	広瀬川の支流である新川にて、インストラクターの指導のもと、小学生を対象に川の生き物探しや安全講習等を中心としたイベントを開催する。
実施主体	仙台市百年の杜推進課
成果目標	参加した方の80%以上に満足していただくことを目標とする
スケジュール	8月頃の予定
開催場所	ニッカ地内（新川）

6

令和5年度「アイラブ広瀬川プロジェクト」

■広瀬川ミズベリング 【新規】

事業概要	<p>【趣旨】 広瀬川を舞台にした事業創発の場を開き、潜在的な広瀬川活動人材を掘り起こすため、プレゼン発表の場をつくとともに、水辺で乾杯を通じて、立場を超えた一体感をつくりだす。</p>
	<p>【第一部】プレゼン大会 市民から広瀬川での企画アイデアを広く募集（特に若年層）し、書類審査（応募数が多い場合）と公開審査を行う。 [審査員候補]本多智訓氏（INTILAQ、株式会社MARUMORI-SAUNA）、岩本唯史氏（水辺総研、ミズベリング・ディレクター）ほか</p> <p>【第二部】水辺で乾杯 これからの広瀬川の利活用（せんだいセントラルパーク等）についての望想を産・官・学・金・民で語り合いながら、広瀬川河川敷にて「水辺で乾杯」を行う。</p>
実施主体	主催：広瀬川ミズベリング実行委員会（予定）
成果目標	参加者数 200人程度
スケジュール	7月7日（金） 16時～20時（予定）
事業予算額	94万円
負担金支出予定額	47万円（事業費の1/2）

7

過去の重点事業に対する負担金支出実績

年度	重点事業 負担金支出対象事業	負担金支出額
平成30年度	平成30年度「広瀬川で遊ぼう」 （広瀬川で遊ぼう実行委員会）	45万円
〃	第11回作並かつぱ祭り （作並かつぱ祭り実行委員会）	20万円
平成31・ 令和元年度	平成31年度「広瀬川で遊ぼう」 （広瀬川で遊ぼう実行委員会）	45万円
〃	第12回作並かつぱ祭り （作並かつぱ祭り実行委員会）	20万円
令和2年度	対象事業なし （新型コロナウイルス感染症の影響で「広瀬川で遊ぼう」・「作並かつぱ祭り」が中止）	—
令和3年度	〃	—
令和4年度	〃	—

※事業負担金の運用方法を明確にするため、仙台市と広瀬川創生プラン策定推進協議会とで事前に確認書を取り交わす。

8

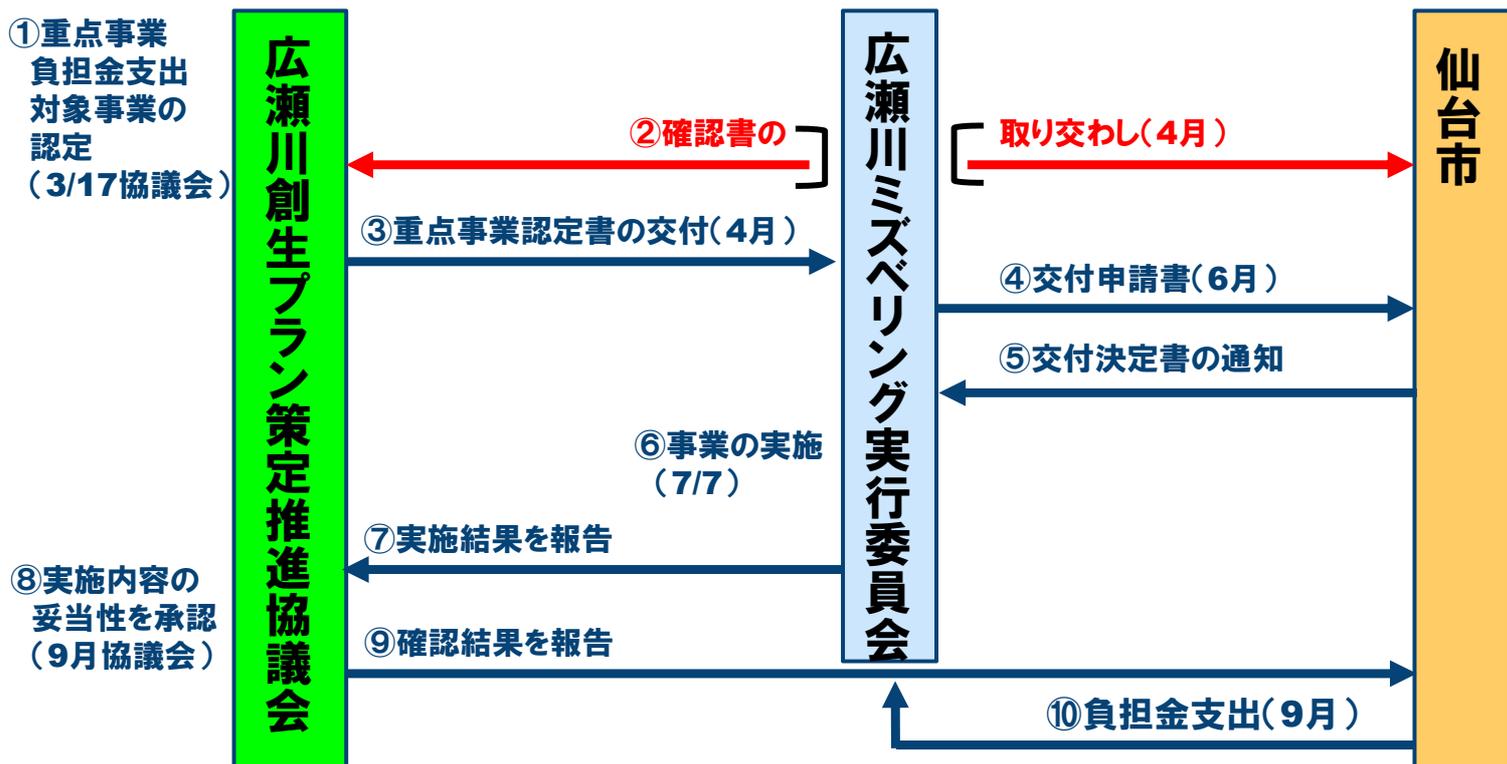
広瀬川創生プラン事業負担金に関する確認書

仙台市（以下「甲」という）と広瀬川創生プラン策定推進協議会（以下「乙」という）は、下記事項について確認する。

記

1. 乙が重点事業と認定した事業のうち、実施団体の自己資金による運営が困難な事業について、乙は実施団体に対して重点事業認定書を交付する。
2. 甲は、甲の予算の範囲内において、乙の認定を受けた実施団体から申請があった事業について、事業に係る経費の一部を事業負担金として交付する。
なお、負担金の上限は、総事業費の1/2までとする。
3. 乙は負担金を申請した事業に対し、実施内容の妥当性について協議会の場で承認を得た後、甲に報告しなければならない。

負担金支出までの流れについて



広瀬川創生プラン 令和5年度取組事業一覧

資料 4

 : 令和5年度新規事業

 : 令和5年度重点事業



No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
1	広瀬川創生プラン 策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。
2		広瀬川ゴールドサポーター認定に対する意見の発信	広瀬川ゴールドサポーターの認定・不認定の決定にあたり、仙台市の審査結果に対して意見を発信する。
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぼう	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。
4		作並かつぱ祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。
5		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。
6		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるように組織を拡充する。
7		広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。
8	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。なお、秋の流域一斉清掃は「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなみ、9月の最終土曜日に実施している。
9	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。
10		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。
11	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、その他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。
12	広瀬川ミズベリング実行委員会	広瀬川ミズベリング	<p>【趣旨】 広瀬川を舞台にした事業創発の場を開き、潜在的な広瀬川活動人材を掘り起こすため、プレゼン発表の場をつくるとともに、水辺で乾杯を通じて、立場を超えた一体感をつくりだす。</p> <p>【第一部】プレゼン大会 市民から広瀬川での企画アイデアを広く募集(特に若年層)し、書類審査(応募数が多い場合)と公開審査を行う。</p> <p>【第二部】水辺で乾杯 これからの広瀬川の利活用(せんだいセントラルパーク等)についての望想を産・官・学・金・民で語り合いながら、広瀬川河川敷にて「水辺で乾杯」を行う。</p>
13	(特非)都市デザインワークス	せんだいセントラルパーク構想	杜の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や「5つの楽しみ方 佇むピクニック・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン」を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。
14		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
15		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんだいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(ハークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
16		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
17	(特非)広瀬川の清流を守る会	広瀬川市民会議との協働	1980年任意団体として発足。1974年仙台市が「広瀬川の清流を守る条例」に定めた市長、事業者、市民の責務を明確にした市民協働の川づくりに共感し「広瀬川の清流を守る会」と命名しました。2001年4月(特活)法人化。「広瀬川の治水・利水・環境」のバランスある川づくり活動を行っています。本会は水面から市民、関係者と清流保全活動を推進し、広瀬川の自然、歴史、文化を守りながら後世に伝える活動を進めてきました。水辺を環境学習の場とし、五感で感じる川体験や魚の観察、ホタルが生息する小川のホタル観察会を開催し、他団体との協働から身近で学ぶ機会を展開してきました。
18		広瀬川清掃	(以下活動紹介) ○NPO法人として河川法や諸法令、条例に基づき、治水・利水・環境のバランスある川づくりを目指します。 ○川活動並びに毎月発行の川守通信を通し、行政、市民、事業者と協働し、「いい川づくり」を目指します。
19		漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント	○川の魅力発見 ・清掃しながら川観察、春夏秋冬の会員相互の親睦会開催(花見・アユ、芋煮、サケを味わう) ・春夏に遡上するアユ、サクラマス他回遊魚の観察 ・冬に飛来するオオハクチョウの観察、植物等、四季を通して観察します。 ・水面の川学習を支援します。
20		広瀬川何でも相談室	○活動の参加 ・河川清掃⇒4月～12月、翌年3月/第2土曜日午前10時～12時 ・広瀬川灯籠流し⇒8/20 ⇒ボランティア参加の方へ(無料招待/8月アユ祭り・11月サケ祭り)
21		川づくり提言・市民協働フォーラム開催	○SDGs & ESDの実践 ・国交省の河川協働団体(2014年指定)として双方支援活動を継続推進します。 ・広瀬川の課題解決に向け、行政と市民そして関係団体と共に協議し、活動します。 ・広瀬川の自然、歴史、文化を学ぶ場を作り、後世に伝えます。 ・広瀬川を学ぶ ⇒川を見る、知る、語る、そして皆で考える「いい川づくり」を目指します。 ・安全な川遊び ⇒場所/八本松親水池(マリヤフリーの水辺で安全な水遊び・メダカ取りができます。)
22		国交省「水辺・絆プロジェクト2022」(笹流し・水辺で乾杯/八本松(親水池)、「水面から学ぶ川づくり」講演会開催)	・自然の再生 ⇒広瀬川の濁水改善、身近な水路(四谷用水、郡山堀、木流堀、旧荒川)の自然、歴史 ・水路の再生 ⇒ホタル飼育と再生
23	(特非)広瀬川ボートくらぶ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	宮沢緑地で貸ボートを行うもので、「広瀬川で遊ぼう」などのイベントとも連携し市民の広瀬川への関心を高める。
24	広瀬川灯ろう流し実行委員会	第34回広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	夏の風物詩としての祖先や死者を供養する灯ろう流しや、花火大会・コンサートなどを実施する。
25	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米「蔵の華」で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。
26	仙台市カヌー協会	カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。
27		カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	リバービブル必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。
28		広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5～11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。
29		市民総体カヌーファンシラローム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。
30		カヌー体験会	シーズン4～5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまめはプチツーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。
31	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト2023	令和4年度に開催した『関山街道の四季フォトコンテスト』を継続し、宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写した、お気に入りの写真を募集いたします。新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。
32		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「熊沢大滝(作並大滝)」や「隠れ滝」の探訪を行います。 ※明治13年7月21日(1880年)「坂下境目御番所跡」で、関山街道掘削のための火薬の爆発事故で犠牲になられた23名の方に、ささやかな祈りをささげます。
33	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。 具体的には以下の活動を実施予定です。 ①事業予算の獲得 ②古仙台湖のカンパ制作成・展示 ③広瀬川の本流、支流の露頭調査継続 ④パネル・写真展示会 ⑤小・中学校へのPR、野外授業の検討 ⑥旧宮城地域町内会連合会へのPR等(完成したパンフレットで地域町内会連合会へのPR活動を実施)
34	西公園プレーパークの会	第40回全国都市緑化仙台フェアグリーンアクティビティゾーンでの体験プログラム	グリーンアクティビティゾーンは、青葉山、大橋、広瀬川の眺望を楽しみ、遊びを通して自然とのふれあいを体感できるエリアです。遊びながら自然を体感できるプログラムや、植物観察などをテーマとしたワークショップなどを開催するほか、子どもが自由に遊ぶことができる空間などを創出します。西公園プレーパークの会では、開催中に数日間遊びのプログラムを実施予定です。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
35	カワラカイ	ミズベフェスタ	ミズベフェスタの開催 広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催 川のプログラム・水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム (火おこし・テント張り・ロープワークなど)を実施予定 水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。 2022年度は、2021年度に行ったプログラム プラスα (マルシェ・キャンプ・BBQなどにチャレンジ:主催者側に学生や主婦を増やし、地域の人を巻き込み、リーダー育成を行う)
36	仙台商工会議所青年部	Art Standing in SENDAI	壁画の維持管理を行い、灯笼流しのイベントの際に令和4年度に描いた壁画をご紹介頂きます。また、令和5年10月中旬に近隣の小中学生と壁画を描く前の状態へ現状復旧を予定しております。
37		河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。
38	仙台河川国道事務所	広瀬川及び旧笹川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。 (仙台地域水循環協議会にて実施、仙台河川国道事務所は事務局)
39		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。
40		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見えた適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。
41		みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。
42	仙台土木事務所	中州・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。
43		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。
44	仙台河川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所ですべて対応する。
45	仙台土木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)
46	国立研究開発法人土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口渓谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口渓谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができています。
47	健康福祉局健康政策課	歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アルーワーク仙台～	楽しくウォーキングに取り組み、ウォーキングを通して活動量を増やすイベント。市内の通りをスタンプラリーで歩きながら、GPSスポットでスタンプを獲得し、ポイント獲得数に応じてプレゼントがもらえる。
48		生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図ります。
49	環境局環境共生課	四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。
50		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(5年毎に2年にわたって調査を実施、直近は令和2年度及び令和3年度に実施した。)
51	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。
52	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。
53		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。
54	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。
55	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き、施設機能を維持する設備改築工事等を実施する。
56		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。
57	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。
58	建設局公園整備課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。
59		西公園整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
60	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。ただし、令和5年度は秋以降のリニューアル工事に伴い、4階に常設しているアクリル封入標本並びに水槽による実物展示が見られなくなる。
61		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力をを行う。
62		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。
63	建設局百年の杜推進課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。
64		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。
65		六・七郷堀非かんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。
66		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。
67		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行こう」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。
68		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。（広瀬川創生係による創生プランの推進）
69		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。
70		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。
71		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。
72		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探しや、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。
73		広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学び、広瀬川の自然・歴史・文化等に触れつつ、広瀬川の魅力を再発見する。
74	#広瀬川 インスタクラブ 建設局百年の杜推進課	仙台市公式 #広瀬川 Instagramに掲載する情報収集と更新	広瀬川に関する行政の取り組み（治水・利水・親水）をInstagramをとおして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。また、広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をInstagramを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。（川歩き等の市民イベント同行による情報発信）。更に、定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。
75	東北工業大学 建設局百年の杜推進課	東北工業大学ライフデザイン学部 生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
76	小田 隆史先生 建設局百年の杜推進課	「地誌学」 学外実習連携事業	小田 隆史先生が東北学院大学で担当する授業「地誌学」の学外実習に協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
77	片平市民センター 建設局百年の杜推進課	広瀬川界限ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩く会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐる、魅力を伝えていきます。
78		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。

広瀬川ゴールドサポーターの認定について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第44回広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

広瀬川ゴールドサポーターの認定について

■ 広瀬川魅力創生サポーター認定制度実施要綱 第8条第2項ただし書きより

ただし、広瀬川ゴールドサポーターの認定又は不認定の決定にあたっては、

市長は前項に規定する審査の結果に関して、

あらかじめ協議会に意見を聞かなければならない。

■ 今回グリーンサポーター認定7団体の内、1団体から広瀬川ゴールドサポーターの申請があった。

《認定要件》

グリーンサポーターの認定期間中に次のいずれかの活動に従事

- ・「広瀬川1万人プロジェクト」清掃活動の会場事務局（又は補助）を3年以上担当
- ・広瀬川創生プランの重点事業の主催団体（又は補助）として2回以上活動
（うち1回は重点事業以外の事業でも可）

2

■ 広瀬川の自然環境の保全や賑わいの創出に貢献している活動団体に対して「広瀬川魅力創生サポーター」として認定する制度を平成31年4月1日に創設した。

参考資料 2 参照

広瀬川グリーンサポーター（7 団体認定済）

【認定団体】



- ・ (株) 阿部砂利建設
- ・ (株) 開成エンジニアリング
- ・ ニッカウヰスキー (株) 仙台工場
- ・ (公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 水部会
- ・ (株) NJS 仙台事務所
- ・ 東鉄工業 (株) 東北支店
- ・ (株) フジタ 東北支店

広瀬川ゴールドサポーター（3 団体認定済）



【認定団体】

- ・ 株式会社深松組
- ・ 特定非営利活動法人都市デザインワークス
- ・ 株式会社建設技術研究所 東北支社

3

【広瀬川ゴールドサポーター申請】

■ 団体名 : 株式会社 N J S 仙台事務所

(主な事業: 上下水道等のインフラに関するコンサルティング 等)

■ 代表者 : 仙台事務所長 新井山 幹樹 様

■ グリーンサポーター認定期間 : 令和元年11月12日から令和6年3月31日まで

■ 活動実績 : **第29回広瀬川流域一斉清掃** (R2.9.26大橋左岸会場**事務局**として活動)

第30回広瀬川流域一斉清掃 (R3.10.2大橋左岸会場**事務局**として活動)

第32回広瀬川流域一斉清掃 (R4.10.1大橋左岸会場**事務局**として活動)

■ ゴールドサポーター認定期間 : 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

<第29回一斉清掃>

<第30回一斉清掃>

<第32回一斉清掃>



4

広瀬川グリーンサポーターの認定の 報告について

建設局百年の杜推進部百年の杜推進課

第44回広瀬川創生プラン策定推進協議会

1

広瀬川グリーンサポーターの認定について

■ 広瀬川魅力創生サポーター認定制度実施要綱 第8条第3項より

広瀬川グリーンサポーターの認定又は不認定の通知をしたときは、
協議会にその旨を報告するものとする。

■ 今回グリーンサポーター認定7団体の内、**1**団体から広瀬川グリーンサポーターの更新申請があった。

《更新の要件》

グリーンサポーターの認定期間中に、広瀬川創生プランの取組事業に延べ10人以上従事

2

- 広瀬川の自然環境の保全や賑わいの創出に貢献している活動団体に対して「広瀬川魅力創生サポーター」として認定する制度を平成31年4月1日に創設した。

参考資料 2 参照

広瀬川グリーンサポーター（7 団体認定済）

【認定団体】



- ・ (株) 阿部砂利建設
- ・ (株) 開成エンジニアリング
- ・ ニッカウエスキー (株) 仙台工場
- ・ (公財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 水部会
- ・ (株) NJS 仙台事務所
- ・ 東鉄工業 (株) 東北支店
- ・ (株) フジタ 東北支店

広瀬川ゴールドサポーター（3 団体認定済）



【認定団体】

- ・ 株式会社深松組
- ・ 特定非営利活動法人都市デザインワークス
- ・ 株式会社建設技術研究所 東北支社

3

広瀬川グリーンサポーターの認定について(報告)

- 団体名 : 株式会社フジタ 東北支店
(主な事業: 建設工事の請負、企画、設計、監理 等)
- 代表者 : 執行役員 支店長 下田平 滋 様
- グリーンサポーター認定期間 : 令和2年6月8日から令和5年3月31日まで
- 活動実績 : **第29回広瀬川流域一斉清掃** (R2.9.26大橋左岸会場の清掃活動に6人参加)
第30回広瀬川流域一斉清掃 (R3.10.2大橋左岸会場で清掃活動に7人参加)
第32回広瀬川流域一斉清掃 (R4.10.1大橋左岸会場で清掃活動に6人参加)
- グリーンサポーター認定期間 (更新後) : 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

<第29回一斉清掃>



<第30回一斉清掃>



<第32回一斉清掃>



4



第40回全国都市緑化仙台フェア

未来の杜せんだい2023 の開催について

仙台市建設局 全国都市緑化フェア推進室

1 全国都市緑化フェア

■ 全国都市緑化フェアとは

都市緑化の意識の高揚、知識の普及等を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催する国内最大級の花と緑の祭典

仙台開催は、平成元年度の「'89グリーンフェアせんだい」以来34年ぶり

「第7回全国都市緑化せんだいフェア」概要

- ・愛称: '89グリーンフェアせんだい
- ・主会場: 七北田公園
- ・会期: 平成元年7月29日～10月16日(80日間)



▲「水玉ぼっちゃん」



▲会場となった七北田公園の全景



▲萩の花をデザインした中央大花壇



▲記念植樹される当時の皇太子殿下

2 未来の杜せんだい2023の概要



未来の杜せんだい2023

～ Feel green! ～

仙台フェア概要

- 愛称 未来の杜せんだい2023 ～Feel green!～
- 開催期間 令和5年4月26日～6月18日(54日間)
- 事業費 概ね16億円

- メイン会場 青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区
開場時間 9:30～17:00
※ 仙台国際ハーフマラソン開催の6/4(日)は12:00開場
入場料 無料(一部有料のプログラムやコンテンツを実施)

目標入場者数
100万人



仙台フェアの開催を
ポストコロナにおける交流人口の拡大契機に！

2

2 未来の杜せんだい2023の概要

【杜の都の環境をつくる条例】の制定50周年

開催意義

1. 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」
2. みどりと親しむ生活と新たな交流の創出
3. 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

基本方針

1. 杜の都のみどりの可能性を発信するフェア
2. 杜の都のみどりを体感するフェア
3. 次世代の担い手を育むフェア
4. みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア
5. みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア

テーマ

「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」

市民の皆様が主役となるフェアを目指し、

「杜の都」の未来へとつながるレガシーへ

4 質の高い教育を
みんなに



6 安全な水とトイレ
を世界中に



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



3

2 未来の杜せんだい2023の概要

- メイン会場のほか様々な会場を設定。まち全体が盛り上がるフェアに！

会場種別・エリアのコンセプト	会場・場所
メイン会場 ・都心部の新たなみどりのネットワーク拠点となるエリア	青葉山公園追廻地区 西公園南側地区 広瀬川地区(公園2地区の周辺)
まちなかエリア会場 ・都心部に回遊性を創出し、フェアの盛り上がりを街全体に波及させる取り組みを進めるエリア	仙台駅ペDESTリアンデッキ
	定禅寺通
	青葉通
	宮城野通
東部エリア会場 ・震災の記憶の継承、みどりの復興の発信や、自然に触れながら家族で楽しめる事業展開を図るエリア	せんだい農業園芸センター みどりの杜
	せんだい3.11メモリアル交流館
	震災遺構仙台市立荒浜小学校
	海岸公園
	高砂中央公園(仙台うみの杜水族館)
連携会場 ・仙台フェアと連携してイベント等を開催する施設	東北大学 学術資源研究公開センター 植物園
	七北田公園
	仙台市野草園
	八木山動物公園 フジサキの杜

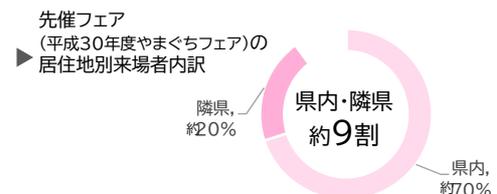
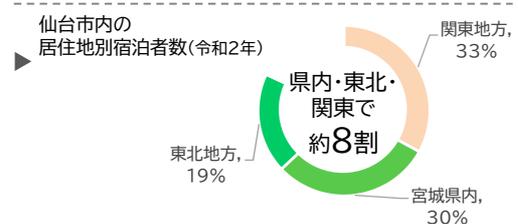
4

3 目標来場者数100万人の達成に向けて

■ ターゲット設定による誘客戦略

● 居住地別ターゲット

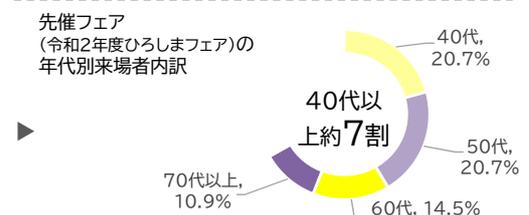
- 第1次ターゲット：宮城県内
- 第2次ターゲット：隣県
(岩手県・山形県・福島県)
- 第3次ターゲット：その他東北地方、首都圏



仙台市外からの来訪を約3割と試算

● 属性別ターゲット

- 基礎ターゲット：40代以上の女性
- 戦略ターゲット：ファミリー層
若年層(学生・若手社会人)



5

3 目標来場者数100万人の達成に向けて

■ ターゲットごとのアプローチ

居住地別	宮城県内 (1次)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による花壇づくりなどを通じたフェア認知度向上 ・まちなかの屋外広告、地下鉄やバスの交通広告 ・地元メディアを活用したプロモーション (地元誌、フリペーパー、テレビCM等)
	隣県 (2次)	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス、道の駅などでの広報 ・小中学校の教育旅行誘致 ・隣県発、バスツアー造成
	東北地方・首都圏 (3次) その他地域	<ul style="list-style-type: none"> ・東北観光案内所ネットワークを活用した広報 ・駅や空港など、交通結節点における広報 ・主要都市プロモーション(福岡、東京、大阪) ・首都圏発、バスツアーの造成
属性別	40代以上女性 (基礎)	<ul style="list-style-type: none"> ・花・みどりに囲まれたライフスタイルの提案
	ファミリー層、 若年層 (戦略)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けコンテンツ(アクティビティ、自然あそび、子ども向けショー) ・インスタ映えスポット ・アウトドア、ワーケーション、癒し・アロマなど ・飲食メニューの充実、飲食イベントの開催

6

4 メイン会場

■ メイン会場コンセプト

- 「杜の都・仙台」のシンボルである青葉山や広瀬川の豊かな自然、藩政時代以来の歴史や文化を感じられる会場とします。
- 公共交通による来場促進を図り、環境に配慮した会場運営とします。



7

4 メイン会場

■ 全体図(会場平面図)



フェア会場整備の様子(R4.12現在)

4 メイン会場 仙臺緑彩館

● コンセプト・概要



仙台の歴史・文化・自然を感じられる
青葉山公園・仙台城跡のエントランス施設として整備



● 緑化フェア開幕にあわせオープン

- ▶ フェア期間中は、総合案内所として機能
- ▶ 杜の都のみどりの歩みを学ぶパネル展示
- ▶ 市民参加による花みどり作品の展覧・ワークショップ



4 メイン会場 追廻地区

■ 大花壇「はなばた飾り」

- ▶ 仙台七夕の吹き流しが、大きくそよぐデザイン
- ▶ 6,700㎡の大パノラマに、12万株・約200品種の花が咲き誇ります



フェアの前半と後半で花壇の色合いが変わります！
仙台城跡から望むこともできます！

10

4 メイン会場 追廻地区

仙台の“居久根(イグネ)”に伝わる、「みどり」を活かした暮らしの知恵。
未来のイグネを5つの庭園で表現し、新たなライフスタイルとして提案。

①家族と共に創る

“ワーキングガーデン”

家族と庭で過ごすワーキング
シーンが生まれるリビングガーデン



テントを利用したワーキングスペース

③自分のみどりを持つ幸せ

“リトルガーデン”

自分だけの庭を造る楽しさを感じる
草花あふれるプライベートガーデン



ガーデンハウス



ナチュラルガーデン



②花咲く楽しい“ポタジェの庭”

家族で野菜や果樹を育て
花も楽しめる菜園 (ポタジェ) の庭



ポタジェ (菜園)

⑤自然を楽しむ

“こどもガーデン”

自然の大切さを学び・遊び
創造力を育てるガーデン



体験ワークショップ

④仲間が集うバラ園と

“コモンガーデン”

バラを守り育てる人々が集う
花みどりを通じた地域交流の庭



バラ園



コミュニティガーデン

11

4 メイン会場 追廻地区

■ 全国の自治体、企業・市民の参加による庭園等出展

● 自治体花壇出展

- 各自治体を小旅行している気分で巡るフォトジェニックガーデン
- 出展自治体の花やみどりの美しさや素晴らしさを発信



● 造園企業・団体等庭園出展

- 杜の都のみどりと親しむライフスタイルをイメージした庭園
- 造園の技能披露と継承の場



● ハンギングバスケット・コンテナガーデン出展・コンテスト

- 作品や活動の発表、交流や情報交換の場
- 身近な暮らしへの花やみどりの取り組み推進



● 造園団体等との連携

- 高校生を対象とした「全国造園デザインコンクール※」の緑化フェア「みどりの広場」部門 受賞作品を作庭し展示
- グリーンインフラをテーマとした緑化技術の展示

※(一社)日本造園建設業協会主催

12

4 メイン会場 追廻・西公園南側地区

■ 多彩なイベント企画

● フラワーカーペット

- 花びらを使用した約90㎡の巨大な絵を市民参加により制作
- 終了後、花びらをリサイクルペーパー化しアート作品を制作することも検討



● ステージイベント

- 東北6県のまつり、著名人やキャラクターショーによる賑わい創出
- 市民の皆様による音楽演奏やダンス等、様々なプログラムの実施



● アウトドア体験イベント

- 広い芝生スペースを活用したアウトドア体験会を実施
- 都心に位置する青葉山エリアで公園の新しい過ごし方を提案



● 夜間催事

- 西公園の樹木をイルミネーションや音で彩り、幻想的な空間を演出
- 天文観察会や飲食イベント、ライトアップ展示等を同時開催



13

4 メイン会場 西公園南側地区

■ グリーンアクティビティゾーン

「子どもが遊びを通じて自然を体感できる」がコンセプト

● フォレストアドベンチャー

公園内の樹林を活用した自然共生型のアクティビティ
木を渡りながら12のアスレチックを体験、最後は大迫力のジップスライド

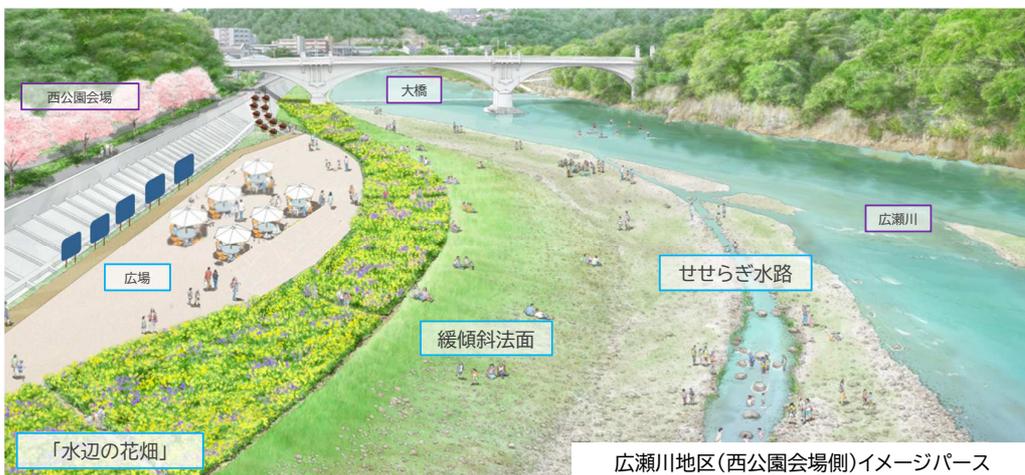


14

4 メイン会場 広瀬川地区

■ 広瀬川地区 ～河川敷に花畑が広がる新しい親水空間～

- 広瀬川の清流を間近で感じられる広場を整備
- 緑化フェアでは「水辺の花畑」や「せせらぎ水路」を設置
- 新たな親水空間を創出し、広瀬川の新たな魅力を発信



4 メイン会場 西公園南側・広瀬川地区

■ 市民団体プラットフォームによるイベント企画

- 西公園・広瀬川をフィールドに活動する市民団体がプラットフォームを構成。
- フェア終了後も見据えた西公園・広瀬川の楽しみ方を提案。



■ テーマ:シゼンに“出会う”体験

キーワード《自然・公園・家族・環境》

- 地下鉄東西線の高架下を活用した展示
- 川原や公園をフィールドに自然とふれあい、家族で楽しめる 体験型コンテンツ
- 木材を使用したワークショップ



16

4 メイン会場

■ 魅力あふれる飲食・物販と観光PR

● 仙台フェアならではの飲食メニューの提供

- エディブルフラワー(食べられる花)や東北の地場産品を活用したメニューを提供
- 地元の飲食事業者による多様なブース出店や飲食イベントの実施



● 花みどりや名産品の販売・観光PR

- 植木や生花、雑貨等の販売
- 宮城県内・東北地方の自治体等による観光・名産品PRブースの展開



17

4 メイン会場

■ 市民協働による会場づくり

● みんなでつくる大花壇

市民参加の花植えイベントを11月に実施(252名)
4月には春植えも実施予定



● おもてなしアートプランター

市内小学校の児童によるプランター制作(100台)
期間中はメイン会場(西公園)に展示



● たねダンゴ花壇

土と花苗を丸めた「たねダンゴ」を花壇に植え付け
市内幼稚園・保育所等の園児や先生が参加(380名)



18

4 メイン会場

■ 快適な会場サービス

● 環境への配慮

➢ SDGsへの取り組みの一つとして、会場内にエコ・ステーションを
整備し、資源ごみのリサイクルを推進

● 市民ボランティア

➢ 多くの市民が参加でき参加者同士が交流できるよう
幅広いボランティア活動の場を提供

参加申込者数**531名**
(R5.2.28時点)

【会場サービスボランティア】

- ・ 会場案内
- ・ 環境美化活動



【植物管理ボランティア】

- ・ 花壇等の維持管理活動
- ・ 植物ガイド



【会場運営ボランティア】

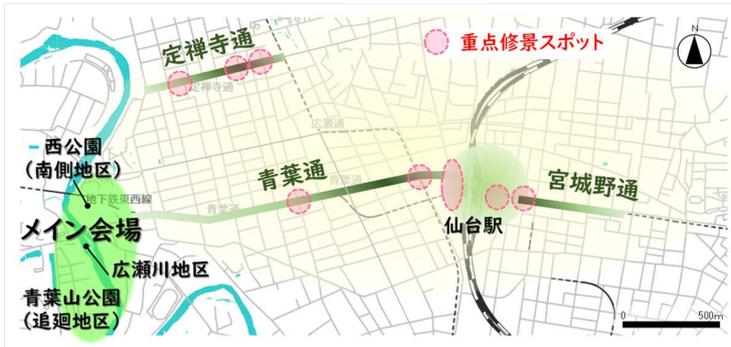
- ・ ボランティアセンターの運営補助活動



19

5 まちなかエリア会場

- **修景計画** 定禅寺通、青葉通、宮城野通を中心に花の修景を行い、くつろぎ歩きたくなる、まちなか空間を造成



定禅寺通(せんだいメディアテーク前)

■ みどりに囲まれた空間の利活用

- 定禅寺通にて、滞在・周遊を促進するイベントを実施
 - キッチンカー、マルシェ、音楽イベントなど
 - テーブルや Wi-fi環境を整備し、屋外ワークスペースとして提供
- 公募で選定された市民団体(7団体)が、街路や公園を会場に、花やみどりを取り入れたイベントを開催予定

20

6 東部エリア会場

震災の記憶の継承、みどりの復興の発信や、自然に触れながら家族で楽しめる事業を展開

せんだい
農業園芸
センター

施設運営事業者との協働による事業実施

- 農業や花みどりに関する特別講演会、体験プログラム
- 既存施設内のみどりを活かした修景、イベント
- 地域団体との協働による会場の修景
- 東日本大震災からの復興に関するパネル展示



メモリアル
交流館・
荒浜
小学校

東日本大震災の記憶と復興の歩みを伝える事業の展開

- せんだい3.11メモリアル交流館
 - 沿岸部の植物や津波による植生変化をテーマとした企画展
- 震災遺構仙台市立荒浜小学校
 - 「津波の脅威」「震災の教訓」「復興のあゆみ」などを紹介する展示



海岸公園

「ふるさとの杜再生プロジェクト」や指定管理者との連携事業の実施

- 海岸防災林に植樹した苗木を育てる育樹会
- 親子で楽しめる東部エリアの多様な生態系に親しむ観察会やワークショップ
- 東日本大震災からの復興に関する企画展示や現地ツアー



高砂
中央公園

仙台うみの杜水族館との協働による事業実施

- 命、海、森・みどりの大切さを伝える教育・体験プログラム
- 広い芝生を活かした多様な過ごし方を提案するイベント
- SDGsを体現した生物多様性等のイベントや植樹体験
- 仙台うみの杜水族館とのコラボイベント



21

7 連携会場

仙台フェアの開催意義や基本理念に賛同した各施設と連携、一体的に催事を展開

【東北大学 学術資源研究公開センター 植物園】

- 植物園ガイドツアーの実施
- 市民公開講座の開催



東北大学植物園エントランス

【七北田公園】

- 「'89グリーンフェアせんだい」レガシーの活用
- 近隣小学生と花やみどりの活動団体による花壇づくり



七北田公園の花壇のイメージ図

【仙台市野草園】

- 花やみどりの活動団体による花の展示
- 市民とともに作りあげた野草園の歴史に関する展示
- 仙台にゆかりのある植物などの特色ある紹介



野草園でのさくらそう展

【八木山動物公園 フジサキの杜】

- 仙台フェア関連イベントの実施
- 園内におけるSDGs関連展示



八木山動物公園

22

皆様のご来場を
心よりお待ちしております。



第40回全国都市緑化仙台フェア

未来の杜せんだい2023

～Feel green!～

期間 2023.4/26[水] ▶ 6/18[日]

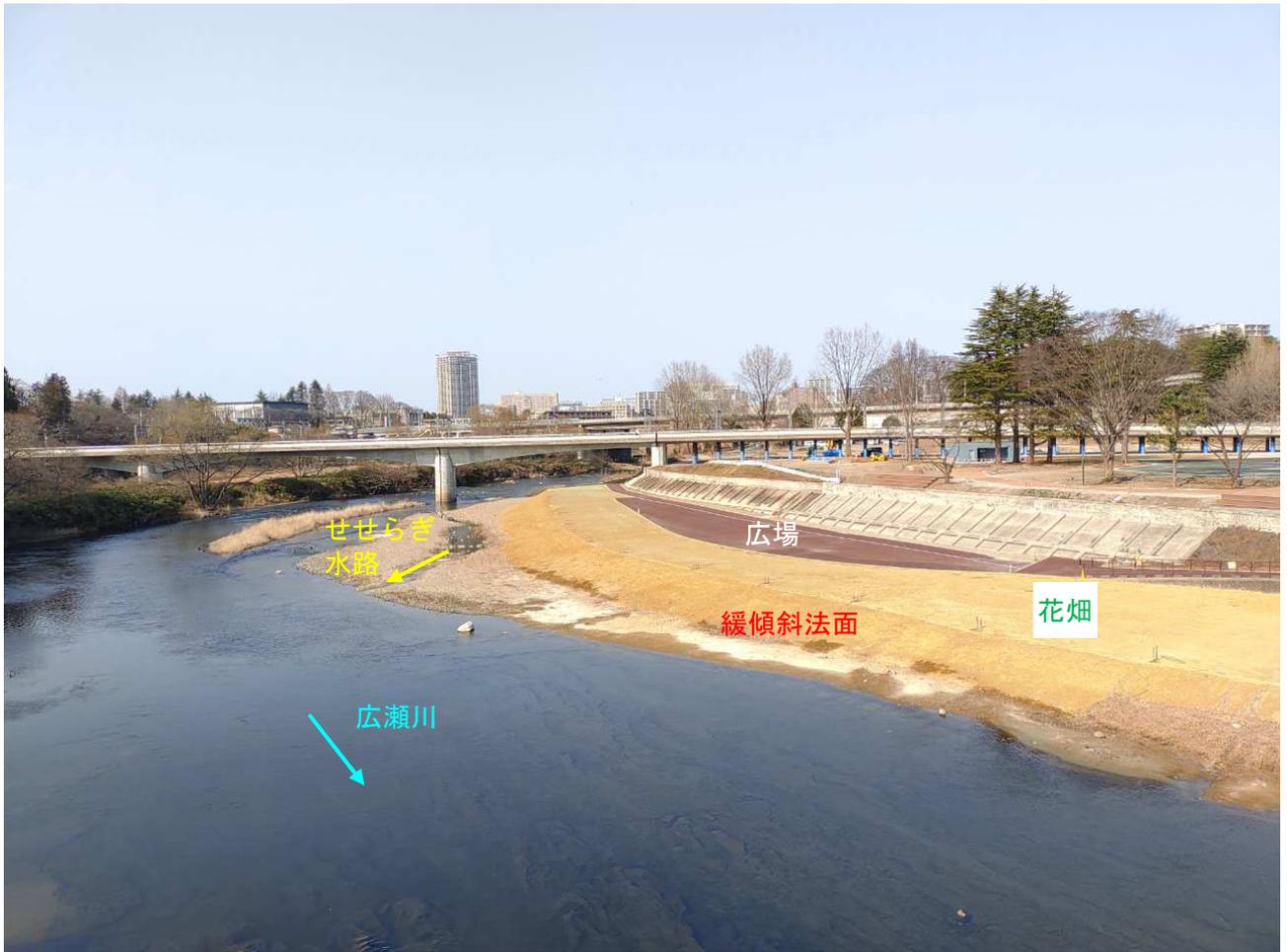
第40回全国都市緑化仙台フェア
マスコットキャラクター

フォレッビ



23

広瀬川会場整備状況 左岸（西公園側）





広瀬川会場整備状況 右岸（青葉山公園側）



